

Bound for the Rio Grande

I'll sing you a song of the fish of the sea,
And we're bound for the Rio Grande,
Then away, love away, away down Rio,

Sing goodbye to Sally and goodbye to Sue,
And you who are listening, goodbye to you,
For we're bound for the Rio Grande.

Our Ship went sailing out over the Bar,
And we're pointed her nose for the Southern Star,
And we're bound for the Rio Grande.

The oak, the ash and the bonny birk tree.
They're all blooming green in the North Countrie,
And we're bound for the Rio Grande.

魚が船出の準備をする
歌を歌ってあげよう
リオグランデに向かって船出するから

サリーとスーに別れの歌を歌おう
そしてこの歌を聞いてくれている君にもね
リオグランデに向かって船出するから

船は港を出て、
帆先を南十字星の方に向ける
リオグランデに向かって船出するから

樅の木、トネリコ、樺の木
ふるさとの北の国では芽を吹いている頃かな
でも僕たちは南のリオグランデに向かうんだ



リオグランデ (リオ・グランデ川、Rio Grande)
アメリカ合衆国のコロラド州から流れ出し、メキシコ湾へ注ぐ川である。
スペイン語 Río (川) Grande (大きな)

Down by the Sally gardens (柳の園のそばで)

柳の木の茂る辺りで 僕と彼女は出会った 彼女はその白雪のような足で
茂みを通り過ぎ 僕に言った 「恋はあせらず 柳の木が茂るように」
だけど若く愚かだった僕は それが分からなかった

川のほとりでたたずむ僕と彼女 僕の肩に差し伸べた白雪のような手
「自然に生きればいいわ 川の堰 (せき) に草が生えるように」
だけど僕は若く愚かだった 今はただ涙に暮れるばかりだ

タイトルの「salley (サリー)」とは「やなぎの木(White Willow)」の事で、アイルランド語で「ヤナギ」を意味する「saileách」が語源とされている。
昔のアイルランドの村々では、杖を作ったり屋根の材料として用いたりするために、「salley garden (サリーガーデン/やなぎの木の本)」を村の郊外に持つことが一般的だったという。